

平成23年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年6月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 システム デイ
 コード番号 3804 URL <http://www.systemd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 堂山 道生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 本庄 英三

四半期報告書提出予定日 平成23年6月13日

TEL 075-256-7777

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年10月期第2四半期の連結業績(平成22年11月1日～平成23年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年10月期第2四半期	1,149	—	160	—	155	—	48	—
22年10月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年10月期第2四半期	15.84	—
22年10月期第2四半期	—	—

(注)当社グループは、前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、平成22年10月期第2四半期の連結経営成績及び前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年10月期第2四半期	2,796	1,381	49.4	447.61
22年10月期	2,587	1,341	51.8	434.66

(参考) 自己資本 23年10月期第2四半期 1,381百万円 22年10月期 1,341百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年10月期	—	—	—	3.00	3.00
23年10月期	—	—	—	—	—
23年10月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年10月期の連結業績予想(平成22年11月1日～平成23年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,105	—	235	—	227	—	135	—	41.57

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

平成22年10月期は、連結損益計算書を作成していませんので、平成23年10月期の対前期増減率は記載していません。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年10月期2Q 3,249,000株 22年10月期 3,249,000株
② 期末自己株式数 23年10月期2Q 162,480株 22年10月期 162,480株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年10月期2Q 3,086,520株 22年10月期2Q 一株
(注)前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、平成22年10月期2Qの期中平均株式数(四半期累計)については記載しておりません。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(第2四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結損益計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりますので、「(1) 連結経営成績に関する定性的情報」及び「(2) 連結財政状態に関する定性的情報 ②キャッシュ・フローの状況」については、前年同期比は記載していません。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

3月に発生した東日本大震災は、被災地に甚大な被害をもたらすとともに、被災地以外でも計画停電等で消費マインドを一層落ち込ませる状況となりました。また、政治の不安定要因もあり、わが国経済の先行きは一層予断を許さない状況にあります。当社の属する情報サービス業界においても、企業等の情報化投資の慎重姿勢は継続しており、環境は依然として厳しい状況が続いております。

①ソフトウェア事業

このような状況の中、当社におきましては、部門毎の対象マーケットの影響を受けて営業成績が低迷した事業もありましたが、おおむね好調に推移しました。

当社の主力である学園ソリューション事業は、顧客の厳しい値下げ要求や情報化投資抑制とコストパフォーマンスの要求水準が高まるなかで、当社パッケージの完成度の高さとスモールビジネス（パッケージを核とした高収益ビジネス）の手法が浸透し、パッケージ売上の伸長と外注費の削減効果で計画を大きく上回ることができました。

前期に組織変更を行いました、ソフトエンジニアリング事業におきましても、規程管理シリーズの大手企業への販売が堅調に推移し、計画を上回る結果となりました。今期首からサービスを開始したクラウド型パッケージも順調に立ち上がりつつあります。

一方、ウェルネスソリューション事業におきましては、個人消費低迷の流れに加え、原発事故の長期化による計画停電の実施、4月入会者の激減等の影響による顧客企業の経営環境の悪化を受けた情報化投資の先送り等で、売上、利益とも計画を下回る結果となりました。下期につきましてはクラウド型サービスの危機対応力の高さを前面に出し回復を図ってまいります。

今期に新設した公教育ソリューション事業は、全国的に引き合いが活発化しておりますが、初期稼働に伴う製造費の増加により、売上では計画を上回りましたが、利益は計画に及びませんでした。当事業のクラウド型パッケージは類似製品が少なく下期以降もシェア拡大の好機であると捉えております。

調剤薬局事業におきましては、安定的なサポート収入を得ることができ、ほぼ計画通り推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,125,987千円、営業利益は237,783千円となりました。

②テナント事業

当社では、自社ビルの一部をテナントとして賃貸しており、計画通りの売上高13,500千円、営業利益9,335千円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,149,966千円（計画比124,092千円増）、営業利益160,866千円（計画比22,041千円増）、経常利益155,916千円（計画比21,792千円増）となりました。四半期純利益につきましては、震災等の影響による54,258千円の資産の評価損を行い、法人税等を差し引いた四半期純利益は48,879千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、現金及び預金の増加135,302千円、受取手形及び売掛金の増加151,321千円、ソフトウェア仮勘定の増加77,815千円及びソフトウェアの減少80,968千円等により、前連結会計年度末の残高より208,689千円増加して2,796,173千円となりました。負債は、支払手形及び買掛金の減少83,678千円、短期借入金の増加300,000千円等により、前連結会計年度末の残高より168,718千円増加して1,414,614千円となりました。純資産は、四半期純利益48,879千円の計上に伴う利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末の残高より39,970千円増加して1,381,559千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、385,976千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権の増加149,405千円等により資金が減少しましたが、税金等調整前四半期純利益74,385千円、ソフトウェア償却費80,968千円及びソフトウェア仮勘定評価損54,258千円等による資金の増加により、資金が34,283千円増加しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

ソフトウェアの取得による支出152,779千円等により、資金が147,213千円減少しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金300,000千円の借入等により、資金が248,232千円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月期の業績予想につきましては、平成22年12月13日に公表いたしました業績予想からの変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期累計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の摘要指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	385,976	250,674
受取手形及び売掛金	684,586	533,264
たな卸資産	20,282	63,614
繰延税金資産	61,725	87,853
その他	15,821	10,406
貸倒引当金	△2,492	△12,861
流動資産合計	1,165,899	932,951
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	210,699	217,762
土地	481,462	494,054
その他(純額)	5,481	5,747
有形固定資産合計	697,642	717,564
無形固定資産		
のれん	63,251	66,580
ソフトウェア	248,401	329,370
ソフトウェア仮勘定	446,378	368,562
その他	2,080	2,080
無形固定資産合計	760,112	766,594
投資その他の資産		
投資有価証券	20,734	19,553
繰延税金資産	32,148	30,101
その他	119,634	120,718
投資その他の資産合計	172,518	170,373
固定資産合計	1,630,273	1,654,532
資産合計	2,796,173	2,587,483
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	145,396	229,075
短期借入金	300,000	—
1年内返済予定の長期借入金	39,976	43,329
1年内償還予定の社債	46,000	48,000
未払法人税等	4,898	9,057
賞与引当金	37,371	—
サポート費用引当金	396	245
その他	132,488	177,938
流動負債合計	706,528	507,645

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年10月31日)
固定負債		
社債	279,000	301,000
長期借入金	291,750	308,395
退職給付引当金	71,598	65,971
役員退職慰労引当金	65,737	62,882
固定負債合計	708,085	738,249
負債合計	1,414,614	1,245,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	484,260	484,260
資本剰余金	619,313	619,313
利益剰余金	319,146	279,520
自己株式	△35,272	△35,272
株主資本合計	1,387,447	1,347,821
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,888	△6,232
評価・換算差額等合計	△5,888	△6,232
純資産合計	1,381,559	1,341,588
負債純資産合計	2,796,173	2,587,483

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日)
売上高	1,149,966
売上原価	703,572
売上総利益	446,393
販売費及び一般管理費	285,526
営業利益	160,866
営業外収益	
受取配当金	302
未払配当金除斥益	310
受取手数料	302
その他	111
営業外収益合計	1,027
営業外費用	
支払利息	4,934
その他	1,043
営業外費用合計	5,977
経常利益	155,916
特別損失	
過年度損益修正損	3,806
過年度売上値引	10,442
ソフトウェア仮勘定評価損	54,258
固定資産減損損失	13,024
特別損失合計	81,531
税金等調整前四半期純利益	74,385
法人税、住民税及び事業税	1,655
法人税等調整額	23,850
法人税等合計	25,505
少数株主損益調整前四半期純利益	48,879
四半期純利益	48,879

(第2四半期連結会計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年4月30日)
売上高	881,579
売上原価	428,315
売上総利益	453,264
販売費及び一般管理費	148,668
営業利益	304,595
営業外収益	
受取手数料	101
保険差益	63
その他	1
営業外収益合計	167
営業外費用	
支払利息	2,513
その他	510
営業外費用合計	3,023
経常利益	301,739
特別損失	
過年度損益修正損	3,753
過年度売上値引	10,442
ソフトウェア仮勘定評価損	54,258
特別損失合計	68,454
税金等調整前四半期純利益	233,284
法人税、住民税及び事業税	792
法人税等調整額	102,537
法人税等合計	103,329
少数株主損益調整前四半期純利益	129,955
四半期純利益	129,955

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	74,385
減価償却費	9,063
減損損失	13,024
ソフトウェア償却費	80,968
ソフトウェア仮勘定評価損	54,258
のれん償却額	3,329
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10,369
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,626
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,854
受取利息及び受取配当金	△305
支払利息	4,934
売上債権の増減額 (△は増加)	△149,405
たな卸資産の増減額 (△は増加)	43,331
仕入債務の増減額 (△は減少)	△62,972
未払金の増減額 (△は減少)	△2,558
その他	△23,588
小計	42,576
利息及び配当金の受取額	305
利息の支払額	△5,060
法人税等の支払額	△3,539
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,283
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,339
有形固定資産の売却による収入	8,000
ソフトウェアの取得による支出	△152,779
投資有価証券の取得による支出	△601
その他	506
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147,213
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300,000
長期借入金の返済による支出	△19,998
社債の償還による支出	△24,000
配当金の支払額	△7,769
財務活動によるキャッシュ・フロー	248,232
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	135,302
現金及び現金同等物の期首残高	250,674
現金及び現金同等物の四半期末残高	385,976

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービスの種類別に事業部等を置き、事業活動を展開しております。

したがって、事業セグメントは各事業等を基礎としたサービスの種類別で構成されておりますが、経済的特徴が概ね類似している事業セグメントについては集約し、「ソフトウェア事業」及び「テナント事業」の2つを報告セグメントとしております。

「ソフトウェア事業」は、特定業種に特化した自社開発パッケージソフトの提供や、クラウド型ビジネスの展開を行っております。「テナント事業」は、自社ビルの一部をテナントとして賃貸しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年11月1日 至平成23年4月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ソフトウェア 事業	テナント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,125,987	13,500	1,139,487	10,478	1,149,966	—	1,149,966
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	5,220	5,220	△5,220	—
計	1,125,987	13,500	1,139,487	15,698	1,155,186	△5,220	1,149,966
セグメント利益	237,783	9,335	247,118	11,859	258,978	△98,111	160,866

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種広報宣伝の企画・制作等の業務を行っております。

2. セグメント利益の調整額△98,111千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間（自平成23年2月1日 至平成23年4月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ソフトウェア 事業	テナント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	873,287	6,750	880,037	1,542	881,579	—	881,579
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	2,850	2,850	△2,850	—
計	873,287	6,750	880,037	4,392	884,429	△2,850	881,579
セグメント利益	346,585	4,598	351,184	5,245	356,430	△51,835	304,595

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種広報宣伝の企画・制作等の業務を行っております。

2. セグメント利益の調整額△51,835千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
当第2四半期連結会計期間(自平成23年2月1日 至平成23年4月30日)
該当事項はございません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。